

証券市場新聞

1 第118号

日経平均株価

2万1892円78銭

▲156円34銭(前日比)

TOPIX

1760.53

▲14.36(前日比)

2018

2/26

月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



～話題のテーマと狙える銘柄～

来期業績を見据えた戦略

円高局面でも成長続ける企業

今18年3月期の第3四半期決算発表が一巡した。第2四半期までの好調を引き継いで期待通り好調を持続している企業が多く、今月に入ってから暴落で、割安感が一段と高まっている企業も少なくない。ただし、数カ月後の4月になるとマーケットの関心は来期の業績動向に関心が移る。今後、成長が見込まれる分野や新製品に加えて、1ドル105円台にまで円高が進んだ為替動向も業績へ影響を与えそう。目先の好業績銘柄の中から選別が進みそう。

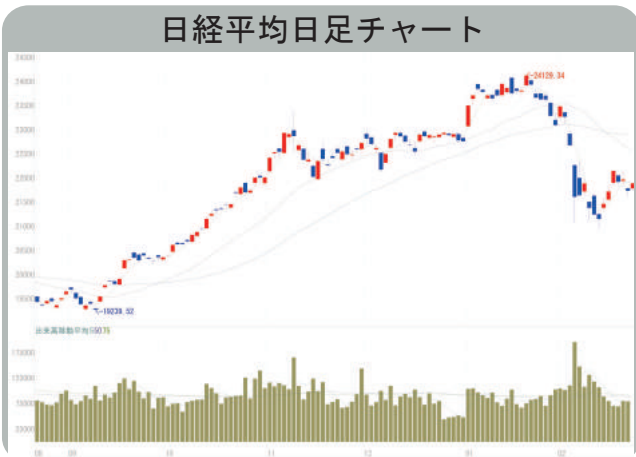


円高でも成長続ける企業に注目

円高でも成長続ける企業に注目。トヨタは105円台の想定を替えて、105円を割る円高は至難の業だが、100円を割る円高にならない限り、今期について105円程度を想定している企業であれば、来期の業績動向にも不安がないと判断できそう。永守重信氏の会長専任と表した株価が下落した日本電産(6594)の想定を替えて、105円を割る円高は至難の業だが、100円を割る円高にならない限り、今期について105円程度を想定している企業であれば、来期の業績動向にも不安がないと判断できそう。

省エネ家電など同社製品には創業以来最大の需要が到来しており、多少の円高になっても成長路線は崩れない。

任天堂(7974)



フトの販売増で業績は拡大してくる。ローム(6963)も105円想定で、車載・産機向け半導体(LSIやディスクリット)の成長は来期も不変。車載や産機向けパワーデバイスへの投資を加速させておえり、フィリピン新工場の建設前倒しや新材料SiC基板の生産能力向上などの効果も期待され、為替動向に係なく業績拡大を続けるのは間違いなさそう。

今週の動意銘柄

コシダカ続騰し新値

米フランチャイザー買収を材料視

週明け19日、コシダカホールディングス(2157)が続騰、11日ぶりに昨年来高値を更新した。連結子会社のカーブスホールディングスが米フランチャイザーのカーブスインターナショナル(CVI)の親会社カーブスインターナショナルホールディングスの全株式を取得し、連結孫会社化すると

発表したことを受け、収益貢献を期待した買いが向かった。CVIは07年には北米7000店舗、全世界1万店舗規模まで成長したが、リーマン・ショック以降の業績悪化で米国投資

ブリヂストン失望売り

19日、ブリヂストン(5108)は反落。18年12月の連結業績は、売上高3兆8000億円(前

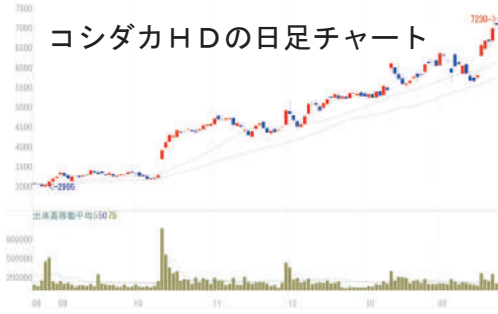
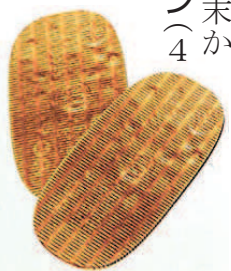
期比4・3%増)、営業利益4630億円(同10・5%増)と増収2ケタ増益を見込んだが、市場コセンサスの4800億円に届かず、失望売りを浴びた。世界全体でタイヤ需要は拡大すると見ており、為替レートは1ドル108円、1ユーロ132円を前提にしている。

正直いいさんの株で大判小判

23日の東京市場は反発しました。全般は薄商いで、年度末を控えた国内機関投資家の利益確定売りや週末要因もあって膠着感の強い展開ですが、日経平均のPERはまり、割安感況にはなり輪終了後の3月第2週で警戒感のすが、中小が目立ち、マート(4好スタートになに中小型の個別ピックアップ(7717)に74)が反発に相場をけん引。週末から急動意の新田ゼラチン(4977)はゼラチンやへプチドの国内有力企業で、実態評価の大相場を期待です。 花咲翁

中小型株の個別物色つづく

投資と考えると銘柄ではVテクノロジ代わって任天堂(79)転じ、中小型好業績株



高ストップはヴァンクス

19日、ヴァンクス(3784)がストップ高。パナソニック(6752)と小売業向け先進的ソリューション開発などで業務提携契約を結んだこと発表し、手掛かりになった。パナソニックの完全自動セルフレジ「レジロボ」に、ヴァンクスのPOSシステム

テム「ANY-CUBE」を組み込み、小売店の環境を大きく変更することなく導入を可能にする。ともに、同社の無人店舗などフューチャーストアにパナソニックのロボティクス技術などを導入。さらに、製造から小売りまで情報をつなぐことで、販売機会の最大化や生産・流通の効率化など、次世代サプライチェーンソリューション実現を目指すとしている。

ズウォー界魔はS-日本

19日、日本ソフトウエア(3851)がストップ高。「魔界ウォーズ」のiOS版とAndroid版の配信を開始したことが材料視された。「魔界ウォーズ」はシンブル&カンタンお手軽シミュレーションRPG。今3月期は3Qで営業利益5億5200万円と通期計画の4億9000万円(前期比11・7%増)を超過している。

アップル78%増益

20日、アップルインターナショナル(2788)がストップ高。同社は19日の取引終了後、18年12月期の連結業績予想を発表、売上高は166億2000万円(前期比21・9%

増)、営業利益は5億7700万円(同77・5%増)、純利益は11億6000万円(同5・7倍)と大幅な増益を見込んでいることが好感された。今後はタイを拠点とした中古車輸出事業の販路拡大を図る。

ビジネス創造の新たな拠点

TOA

「ナレッジスクエア」を建設へ



TOA再開発イメージ図

「宝塚事業場」(兵庫県宝塚市)を再開発し、ビジネス創造の新たな拠点「ナレッジスクエア」建設計画を発表した。再開発の対象は、同社が兵庫県宝塚市に所有する拠点「宝塚事業場」で、現在は主に研究開発部門が業務を行っている。再開発では、約2万1000平方

メートルの敷地内に研究開発棟を新設し、環境面への配慮として緑化帯、庭園も整備する。着工は、今年3月、2020年12月の完成後は新たな価値を創り、ビジネスを生み出す拠点として、同社グループの成長を牽引する。主要施設は、新設の研究開発棟。延床面積約7500平方メートル、地上5階の建物に、開発者居室や実験設備等を備えている。社会に開かれた施設として、施設内に見学ルートや、顧客に向けたプレゼンテーションルームを設置。施設全体で内外との活発なコミュニケーションが行える環境を整える。

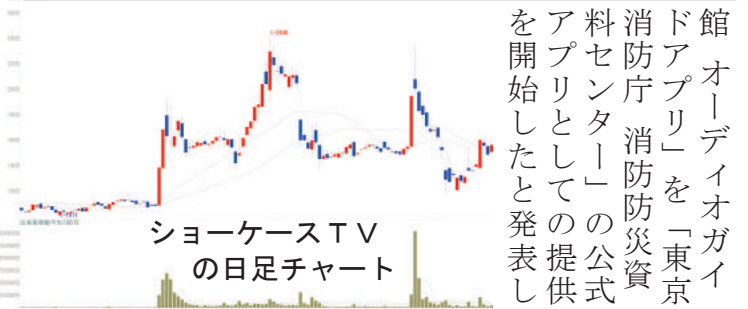
企業レター

「オーディオガイダンス」を利用したアプリ「消防博物館」

ショーケースTV急伸

消防博物館の公式アプリに採用

20日、ショーケースTVが急伸。東京ドーム(9681)と共同開発した、クラウド型多言語オーディオガイダンスシステム「オーディオガイダンス」を利用したアプリ「消防博物館」



館オーディオガイダンス「東京消防博物館」の公式アプリとしての提供を開始したと発表した。消防博物館では、このアプリを導入したiPod Touch端末の貸し出しサービスを行う。館内の見所が、博物館のユーザビリティ向上に貢献。日本語、韓国語、英語、中国語、タイ語にも対応する多言語対応アプリで外国人観光客が楽しめるツール導入により、外国人来館者増加も期待される。

20日、アルビス(7475)が急反落、2週間ぶりに昨年来安値を更新した。69万3200株の公募による新株発行と49万8100株の自己株式の処分、上限16万3600株のオプション売却を予定していることを受け、株式価値の希薄化と需給圧迫を警戒した売りがかさんだ。発行条件は2月

アルビスは需給懸念

27日、3月2日のいずれかの日に決定。合計の手取り概算額は58億6630万円。アルビスプロセッサセンター新設など設備投資に充てる。併せて、三菱商事(8058)を割当先とする合計59万3200株の第三者割当増資も実施すると発表、発行価格は公募の募集価格と同じ。

メディアスは高S

21日、メディアスホールディングス(3154)がストップ高。4日取引終了後、3月31日を基準日として1株を3株への株式分割と実質配当引き上げ、優待制度充実を発表したことを好感した

ユニツル12%増益

20日、ユニツル(6278)が4連騰。18年12月期の連結業績予想を発表、売上高は245

買いが殺到した。40円としていた期末一括配当を14円、分割前換算で42円へ引き上げ、株主優待制度は1年以上継続して1単元(100株)以上保有する株主へのクオカード贈呈額を10000円分増額する。

(同12.2%増)と2ケタ増益を見込んだことを材料視。高付加価値品の開発・浸透を重視していく。億円(前期比5.7%増)、営業利益は41億5000万円

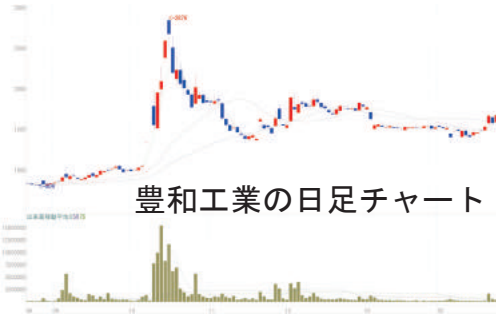
岡山憲史著「熱盛」銘柄5選!!【S-1・株-1で優勝した株プロが厳選する5銘柄】がリリースされました。証券市場新聞の「潮流」でも辛口かつ的確なマーケット分析と銘柄選択で好評を得ている岡山憲史氏の「熱盛」銘柄5選!!を是非一読ください。



防衛関連買い進まれる

冬季五輪後の地政学リスクに思惑

21日、豊和工業(6203)や石川製作所(6208)、細谷火工(4274)など防衛関連が買い進まれた。平昌冬季五輪が終盤になるなかで、五輪後に米韓が軍事演習を再開、その後、何らかの対米国が北朝鮮に対して軍事行動にでるのでは?との思惑が防衛関連の買いに繋がっているように見られる。材料難となるなかで、長らく物色の圏外に



フィールズ一転赤字継続

21日、フィールズ(2767)が急反落。18年3月期の連結業績予想を下方修正、売上高を820億(前比18.5%)、営業利益を5億(前比18.5%)と見込んでいる。

高千穂交易

新世代チェックアウトシステム

アップストシステム「スーパーマーケット」(イスマール社)

21日、高千穂交易(2676)が急騰、昨年来高値を更新した。スーパーマーケットの買い取りに際し、物処の間に大幅削減を施す新世代チェックアウトシステム「スーパーマーケット」(イスマール社)の導入が、コスト削減に大きく貢献している。

5%減)、営業損益を10億(20億円の赤字から60億円の赤字(前期53億7400万円の赤字)へ一転、大幅減収で赤字継続を予想したことが嫌気された。風適法施行規則改正の公布・信協会(保通協)の旧基準機の型式試験が長期化、パチンコ・パチスロの大型タイプを含む複数機種について、今期中の販売が困難になった。

の取り扱いを開始したと発表したことが材料視された。顧客が買物をする際に自分のスマートフォンを使って商品バーコードのスキヤンを済ませるため、従来のレジでのバーコード読み込みが不要となり、商品決済の時間間を大幅に削減することができると見られる。また、既存のインフラや仕組みを大幅に変える必要がなく、導入時とができるという。

他に例なし・暴落底値買一筋(門外不出)大伸流底値先回り買投資成功秘法試見

◎暴落銘柄買に暴落なし天与の底値買銘柄の買場接近中(2月19日)

- (4755) 楽天 高値2395円より半値以下に暴落中底値買場接近中
- (3632) グリー 高値1113円より暴落中なり。一段安で断固買OK
- (8697) J P X 高値2154円より暴落中なり。一段安で買指示予定
- (6723) ルネサス 高値1543円より暴落中なり。一段安で買指示予定
- (6773) パイオニア 高値269円より暴落中なり。一段安で買指示予定
- (6924) 岩崎電気 高値3150円より半値以下に暴落中なり。断固買OK
- (6103) オークマ 高値8140円より暴落中なり。一段安を待って断固買OK

迷える投資家の杖味方・買値及び売値予想ズバリ教えます お試しください

論より証拠・上記の如く底値大幅高予想のお試し銘柄をお知らせします。(自信あり)(返信切手1000円要)

田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年)金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員

大伸経済研究社

会費1ヶ年50万円、2ヶ年80万円(継続同額)(税込)
 (会費は高いが的中率に自信あり)(広告参照)
 将来の運用成果を約束するものではありませんが
 (銘柄相談自由)(入会勧誘いたしません)

公表銘柄は一例であり全てではありません
目標値は当社独自の分析による予想値です

有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

電話058-243-5690(午前8:30~11:00)

〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2

インターネットでの資料請求は[ここをクリック!](#)

2年連続で認定される

日本トリム

健康経営優良法人～ホワイト500～



2018
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

健康経営優良法人は経済産業省と日本健康会議とが共同で2017年から開始した制度で、保険者と連携して優良な健康経営を実践する法人に与えられる。同社では

「健康経営優良法人」は経済産業省と日本健康会議とが共同で2017年から開始した制度で、保険者と連携して優良な健康経営を実践する法人に与えられる。同社では

本健康会議が共同で優良な健康経営を実践する法人に顕彰する「健康経営優良法人」ホワイト500」に2年連続で認定された。「健康経営優良法人」ホワイト500は経済産業省と日本健康会議とが共同で2017年から開始した制度で、保険者と連携して優良な健康経営を実践する法人に与えられる。同社では

「健康経営優良法人」は経済産業省と日本健康会議とが共同で2017年から開始した制度で、保険者と連携して優良な健康経営を実践する法人に与えられる。同社では

企業レター

日本トリム(6788)は経済産業省と日

管理医療機器である電解水素水整水器から生成される電解水素水を日常的、習慣的に飲用することが、人々の健康維持・増進、疾病予防に大きく寄与するとの考えのもと、「ウォーターヘルスケアという、新習慣。」を提唱、膨れ上がる国民医療費の削減に貢献したいという想いで、電解水素水整水器の普及に取り組んできた。「ウォーターヘルスケアという、新習慣。」に加え、職場環境の改善、労務管理の徹底、業務の効率化や健保からの事業所カルテの情報収集など、従業員の健康保持・増進への取り組みが評価されている。

1500億円を上回るとした自社株取得枠を設定すると発表し、押し目買いが優勢になった。

NTT3日ぶり反発

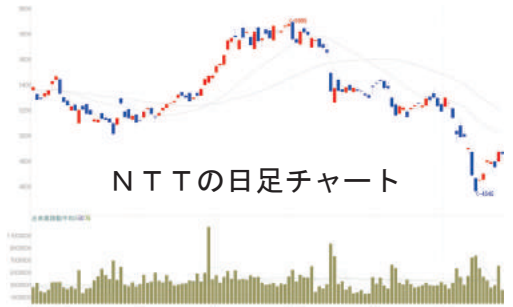
3100万株の自社株買い

NTT 22日、(943)が3日ぶりに反発。発行済株式総数に對する1・57%にあたる3100万株、金額にして

取得期間はこの日から6月30日まで。

土木管理ストップ高

22日、土木管理総合試験所(6171)



NTTの日足チャート

が急伸、ストップ高まで買われた。ライフサイクルコストを最小化する道路・軌道の異常度診断ビッグデータ共有システム「ROAD・S(ロードス)」の説明資料を公表したことが買い手掛かり。特殊アルゴリズムとAIを活用した解析技術により路面下の空洞や埋設管の敷設状況などを高速解析。地中情報を共有することで、調査費や修繕工事費の最適化・最小化が図れるという。

22日、アダストリア(2685)が急伸。21日の取引終了後、創業者の福田三千男氏が代表取締役会長兼最高経営責任者(CEO)から3月1日付で代表取締役会長兼最高経営責任者(CEO)兼任に就任する人事を発表していることから、創業者の経営トップ復帰による収益改善と今後の業容拡大に期待が高まった。

アダストリアはトップ人事

16日現在の信用倍率は0・74倍と売り超過、貸借倍率も0・1倍台と大幅な貸株超過で、経営トップ交代による期待感が買戻しを誘発した。

リコー減損処理報道

22日、リコー(7752)が急落。この日の日本経済新聞で「リコーが北米事業の低迷で数百億円の減損処理を検討していることがわかった」と報じたことが嫌気された。2008年に買収した米事務機販売大手の収益が想定を下回ってお

原油関連総じて高い

週末23日、国際石油開発帝石(1605)、石油資源開発(1662)の資源開発やJXTGホールディングス(5020)など原油元売りを含めた原油関連株が総じて高い。前日のNY原

り、損失額が最大1000億円規模に膨らむ可能性があるという指摘している。

ミズホメデイ6連騰

22日、ミズホメデイ(4595)が6連騰。19日付で遺伝子P O C T検査としてマイコプラズマ核酸キット「スマートジン」Myco

「の国内製造販売承認を取得したと発表したことを受け、早期収益貢献を期待した買いを集めた。遺伝子の抽出、増幅、検出の全工程を1つのカートリッジ内で1ステップかつ短時間で行うことができ、夏ごろに発売の予定。

油先物4月限(WTI)が1ドル9セント高の1バレル62ドル77セントと大幅高となり、米国株市場ではシェブロンなどではエネルギー関連株が上昇。海外関連株高の流れが波及しており、リバウンド狙いの買いが流入した。

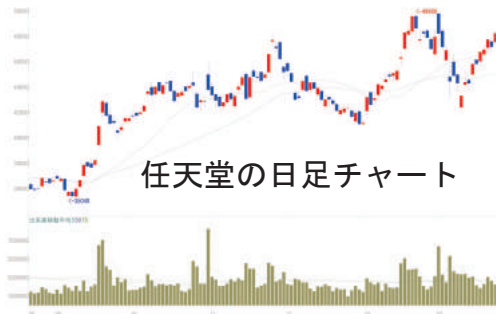
任天堂大賑わいで上昇

スイッチ大ヒットを再評価

を刺激した。

デジタル教材関連高い

23日、チエル(3933)が急伸。政府が小中高校でタブレット端末などで利用できる「デジタル教科書」を正式な教科書と位置付ける学



任天堂の日足チャート

23日、任天堂(7974)が大賑わいで上値志向してきた。ニンテンドースイッチ大ヒットによる大幅な収益拡大を改めて見直す動きで、為替前提レートと実勢より105円と実勢より円高水準に設定していることも買い安ん感を誘った。この日は欧州系証券が目標株価を大幅に引き上げたことが株価

フランスベッド需給懸念

23日、フランスベッドホールディングス(7840)が急反落。210万株の売り出しと31万5000株のオートメーションによる売り出しを行うと発表されたことで、需給圧迫を懸念した売りがかさんだ。売り出し価格は、3月6日か

カイ気配のまま値付かず

23日、Mマート(4380)が東証マザーズに新規上場、公開価格1240円に對して2852円カイ気配で取引を終えた。BtoBに特化したインターネットマーケティング事業を展開、今年最初のIPOとして注目を集めていた。

学校教育法改正案を閣議決定したと伝わったことを受け、デジタル教材の企画・開発・製作・販売を行う同社が関心を集めた。20年度から本格的に現場での活用を促す方向で、通常国会での成立を目指す。オンライン学習教材「すらら」を提供するすららネット(3998)も一時ストップ高まで買われた。

今週の動意銘柄

3月10日(土)個人投資家向けセミナー in 大阪

主催：株式会社 イベントス 協賛：証券市場新聞

3月10日(土) 14:30~16:30 受付・開場14:00 定員：216名(参加料：無料)

第1部 14:30~15:20 沖縄セルラー電話 (9436：東証ジャスダック)

会場：エル大阪 南館5階 「南ホール」 〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14

沖縄セルラーは沖縄で唯一のモバイル通信、固定通信サービスを展開している総合通信事業者です。

近年では、植物工場やECサイトといった新規事業立ち上げなど、通信以外の事業にも取り組んでおります。「沖縄のためにお役に立ちたい」との強い思いから産声を上げた当社は、「地元に全力」をモットーに沖縄に密着した事業展開をしております。

執行役員 経営管理部長 上原 靖 氏

第2部 15:30~16:30 高野 恭壽(たかのやすひさ)氏の株式講演会



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。



交通：地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m

潮流

外人投機筋は買戻しへ

誤算は個人投資家の張り投資

marKet/bAnk

外国人投機筋の考え方として、米国はインフレ期待が改善しているので、インフレヘッジ資

産の米国株は買い。また、金融政策の結果として経済が改善したことを考えれば、財政政策への期待感がない欧州は、量的緩和の規模縮小は実体経済へのマイナス要因が大きいとの判断から弱気。そして日本は超ハイベータ市場なので、VIXショックによる市場の混乱に乗じて売りを先物で仕掛けた方が儲かるといった自分勝手な考えを持っているようだ。

実際に1月22日の週からの3週間で、外人投機筋は先物を約2兆5000億円も売りを浴びせ、日本株式市場を売り崩した。特にCTA業者のクレディ・スイスやバークレーズ、ソシエテなどヘッジファンドが連日まとまった額を売り越していた。ただ、誤算だったのは、個人投資家が積極的に逆張り投資でこの急落局面で買いを入れたことだろう。

日銀プットや事業会社の自社株買いなども入ってくるので、売り投機をしている外人投機筋には分が悪くなっている。ドル円の円高反応でも日本株は逆行高していたことでも見て取れる。外人投機筋は急落局面で現物取引がない東証昼休み時間や夜間取引を利用して先物を売るという姑息な手段を用いる。ただ、1月末からの下

落トレンドに乗じて株価指数先物の持ち高を売りに傾けていた外人投機筋のポジションは悪化している。

日経平均が取引時間中に下げ幅を1603円(7.1%)まで広げた6日、

日経225先物の売買高加重平均価格(VWAP)は2万1714円だった。日経225先物は16日にこの水準を上回った。VWAPは先物売買の平均価格に相当し、売り方にとっては平均売りコストを意味する。売り持ち高を膨らませている場合、相場水準がVWAPを上回ると評価損が出て損失覚悟の買い戻しを誘いやすい。7日のVWAPは2万1880円、8日は2万1818円だ。日経225先物はこれらの水準を19日に突破したことで、投機筋の買い戻しが入り大幅高となった。

現在も日経平均VIと225先物を利用したプログラム売買で日経平均が乱高下している。外国人投機筋が日々やっている自分に都合の良いアルゴでのプログラム売買は相場操縦そのものだ。今後は、円安が日経平均VIを低下させ、225先物に買い戻しが入る展開となるだろう。

潮流銘柄はシンクロフード(3963)、日本エスコ(8892)、日本システムウェア(9739)。



岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク 代表取締役のプロフィール)

「プリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

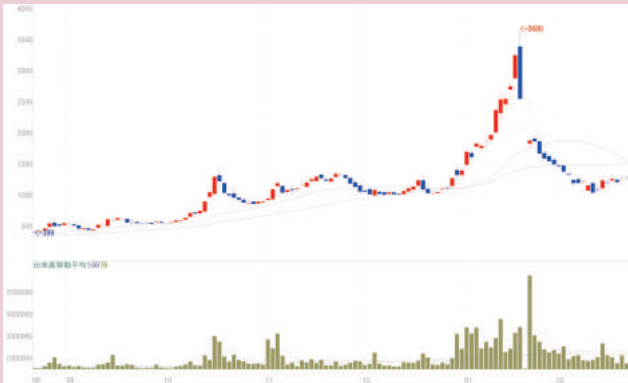
VWAP上回り評価損

日本エスコの日足チャート



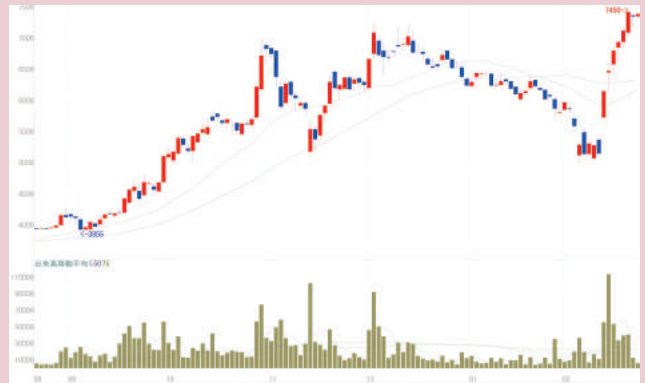
チャートから読む 騰落銘柄

杉村倉庫(9307)



1月22日に3680円まで急騰後に長らく調整していたが、1000円トビ台で下げ止まる動き。夢洲での万博やカジノ誘致前進で思惑再燃なら50日線突破で1500円抜けを期待。

ハーバー研究所(4925)



6日安値5000円を底値に急反騰、日足陽転のあと上げ足をさらに速め、一気に青空相場入り。大勢上昇トレンドのなか、月足は下ヒゲの長い陽線を引き、大幅利益上振れ期待をテコに大お化けの兆候見せる。

ホットランド(3196)



昨年12月13日に戻り高値1553円を付けた後に下落基調で1300円割れでも下げ止まる気配なし。次のフシは2017年2月24日の1028円でその次は4ケタ割れが視野に入る。

テクノHR(6629)



18年3月期通期上方修正を好感、19日に上場来高値1027円を付けてから伸び悩む。200日移動平均からの上値カイ離が250%におよび、目先値幅調整へ。25日移動平均近辺の700円が下値メド。

主力の上値は限られる

高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

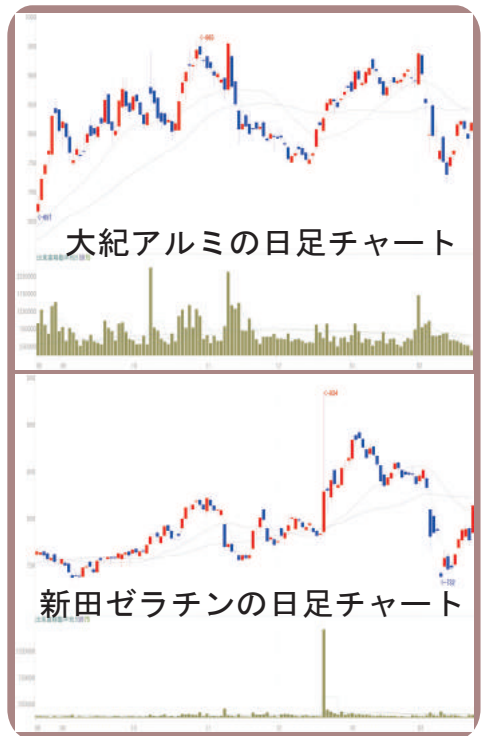
この欄を執筆している22日の東京市場は前日に続き、米国株安をみて更なる下落に対する警戒感が強まり、寄り付きから

200円程度の下げから始まり、売りました。しかし、売りの巡後は更なる売りもあまたでなかつたため、200円余りの下げでもみ合う動きになりました。主に国内勢の決算対策による益出しの売りとみられていますが、米国公債の金利上昇で債券価格の低下による損失がでており、それを埋めるかたちになっていきます。日経平均は下がったとは

新田ゼラチンの出番を待つ!!

いえ、金融機関などは十分に利益確定できる水準になっていきますので、主力系中心とした売りがでていくことになります。下旬までこうした売りが続くともいわれます。相場が反発場面になっても主力系の上値は限られることになりそうです。そうしたなかでこれまでこうした機関投資家があまり持っていない銘柄が上値を追い格好になっていきました。当欄でもこうした流れを予想して、彼らがあまり持っていない銘柄をこのところお勧めしてまいりました。

ヤマダ電機(9831)がこの低迷相場のなかで上値を追い700円台に一時乗せて存在感を示してまいりました。**岩谷産業(8088)**は一服となつていますが、上昇トレンドが崩れたわけではありません。**大紀アルミニウム工業(5702)**は上げた後の一服場面となりましたが、780円台では買い物が多く入っており、押し幅も深くあ



りませんでした。恐らく、最悪でも780円割れがメドとなつて再び上値を追うものと思われまふ。我慢して持続してください。

これに加えて**新田ゼラチン(4977)**を新たに力を入れて勧められています。また、エンジンがかかっています。そうかといつて悲観する必要は全くありません。筆者は倍以上の株価を予想しています。他の銘柄を売つて乗り換えることも悪くはないと強気で注目しています。今後、数カ月視野で株価動向を見てい

てください。

このほか協和キリン(4151)、カネカ(4118)です。

高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市情報
これでどや!!
<http://www.kabun-takano.com/>
毎日情報を配信中!

星野三太郎の 株街往来

～深刻化する人手不足～

この数

週間は、年末年始に挨拶が
できなかつた企業のIR担
当者と何度か飲みに行く機
会があったが、共通してい
る悩みは人手不足。ハロー
ワークや求人サイトなどで
募集をしているそうだが、
給与を上げないと応募が来
ない。しかし、生産現場だ
と時給を上げてしまうと、
現在働いている人との不公
平が生じてしまい、仮に採
用にこぎつけても、待遇が
未練なく辞めてしまうそう
だ。

雇う企業側にとっては悩ま
しく、雇われる側にとつて
はまさに選り好みな印象に
なるが、筆者の周囲では倒
産やリストラで50歳を超え
て職探しをしている人も少
なくない。人手不足で売り手
市場といっても特定の年齢
層に偏っている印象だ。

コンビニではセルフレジの
導入などで人手不足を解消
する動きがあるそうだが、
コンビニのレジ自体、公共料
金の支払い対応など複雑化
しており、これを完全にセル
フ化するのにはハードルが
高い。少子高齢化が深刻化
するなか、今後一段と人手
不足が深刻化するだろう。
政府も対策を行っている
ようだが、どれも小手先。
抜本的な対策を打ち出さな
いと先行的な崩壊につな
がりがねない。



New product

ナカバヤシ ファン付きUSBライト PCサプライブランドから発売



「LED USBライト（ファン付き）」

ナカバヤシ（7987）はPCサプライブランド「DigiO2（デジオツー）」から、コンパクトサイズのファン付きUSBライト「LED USBライト（ファン付き）」を発売した。仕事や勉強時に手元を明るく照らすLEDスタンドライトに、ふんわりとやさしい風を届けるファンを搭載。暖房が利いた室内における勉強時のリフレッシュや夏のクールビズ対策など、季節を問わずに使える1台2役なので、スペースが限られる卓上を有効に使える。ライトは発熱を抑えた省エネ仕様のLEDで、角度が自由に調節できるフレキシブルアームを採用、お好みの位置に光を照らせる。

強時に手元を明るく照らすLEDスタンドライトに、ふんわりとやさしい風を届けるファンを搭載。暖房が利いた室内における勉強時のリフレッシュや夏のクールビズ対策など、季節を問わずに使える1台2役なので、スペースが限られる卓上を有効に使える。ライトは発熱を抑えた省エネ仕様のLEDで、角度が自由に調節できるフレキシブルアームを採用、お好みの位置に光を照らせる。

2年連続「環境大臣賞」受賞

大和ハウス

「サステナビリティレポート2017」



大和ハウス工業（1925）が発行したESG（Environmental、Governance、ガバナンス）に関する情報（略語）に関するウェブサイト「サステナビリティレポート2017」が、「第21回環境コ

「サステナビリティレポート2017」が、「第21回環境コ
大和ハウス工業（1925）が発行したESG（Environmental、Governance、ガバナンス）に関する情報（略語）に関するウェブサイト「サステナビリティレポート2017」が、「第21回環境コ
同社は創業100周年となる2055年を目標に「環境負荷ゼロ」を目指す環境長期ビジョンの実現に向け、2025〜30年の中間目標を策定すると共に、3年ごとに到達レベルを設定し直すという計画になっている。同レポートは各課題において、ステークホルダー別に目標、実績、評価等が報告されており、非常に読み易い報告書。脱炭素社会へ向けての取り組みも紹介されている点が高く評価されている。

企業レター

「サステナビリティレポート2017」が、「第21回環境コ
同社は創業100周年となる2055年を目標に「環境負荷ゼロ」を目指す環境長期ビジョンの実現に向け、2025〜30年の中間目標を策定すると共に、3年ごとに到達レベルを設定し直すという計画になっている。同レポートは各課題において、ステークホルダー別に目標、実績、評価等が報告されており、非常に読み易い報告書。脱炭素社会へ向けての取り組みも紹介されている点が高く評価されている。

敏腕先物ディーラー ハチロクの裏話

日柄調整の揉み合い相場

方向性出るには外人買い必要

先週の日経平均は急落後の戻りを試し、2万2170円まで2万0900円の安値から12

なった個人投資家は取り合えず「買い成功」となった。一方、外人投資家は36億円の売り越しとなり、1週目の6446億円に比べると金額は減ったが6週連続の売り越しとなった。

また、裁定取引に関わる買い残が大幅に減少している。年初に約3兆4000億円で、2月16日時点では1兆5000億円まで減少している。やはりこの急落過程で解消売りがかなりでて、下落相場に拍車を掛けたようである。

ただ、この買い残の水準は昨年の4月、9月辺りであり、当時はその後買い残が増加し相場も上昇してきた。今回も3月のS&P500に向けて買い残の増加が見込まれるだろう。

70円戻した。この水準は黄金分割比率の0.382%戻しの水準である。その後下落し、木曜日には2万1590円まで調整する展開となった。

2番底探りの展開となっているが1270円戻しの半値押しは2万1535円なので、この2万1590円の安値を2番底にできるか今週のポイントとなろう。

1日の売買代金が今年最低となるなど、薄商いが続いていくので先物主導の展開となる。今週も「前場買いの後場売り」が有効だろう。

(ハチロク)

東証が発表した2月第2週の投資部門別売買動向によると個人投資家は850億円の買い越しとなり4週連続で買い越しした。第1週の急落過程で過去最高の7458億円の買い越しと

り今週は揉み合い相場となりそうである。2万2170円の高値を抜けてくる

今週のスケジュール

- 26日 米1月新築住宅販売件数(27日 0:00)
- 27日 米2月CB消費者信頼感指数(28日 0:00)
- 28日 1月鉱工業生産、1月商業動態統計(8:50)
中国2月製造業PMI(10:00)
米10-12月期GDP改定値(22:30)
パウエルFRB議長が初の議会証言(下院)
- 1日 10-12月期法人企業統計(8:50)
2月消費者動向調査、2月自動車販売台数(14:00)
米2月ISM製造業景況指数(2日 0:00)
米2月新車販売台数
パウエルFRB議長が議会証言(上院)
- 2日 1月失業率・有効求人倍率、1月家計調査(8:30)
2月マネタリーベース(8:50)

急落過程でできた窓(2万2340円)を埋める方向性が出てくるが、それには外国人投資家が買い越しに転じなければ難しいだろう。

マカオには少額の賭け金で、大金をつぎ込むギャンブラーの逆目を張って、生計を立てている人がいると聞いたことがある。彼らに理論や確率など理屈はない。勝てば掛け目を上げ、負ければ下げる、負けが続けばしばらくやめるといって賭博の鉄則を守っているだけ。小さく勝ち負けを繰り返しているうちに、大きなチャンスが巡ってくるという。さて、東京市場では海外投機筋の売り崩しに個人が買い向かった。相場は反発に転じ、個人優位の状況になったが、ここから掛け目を上げてくるのだろうか。

編集後記

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被りたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。